

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6~8	「自立支援」「尊厳の保持」「権利擁護」言葉として耳にしているも、しっかりと理解し、職員全てが支援に実践出来ているとは言えない。	全ての職員が利用者の尊厳を大切に考え、適切なケアの実践が出来る。	①権利擁護・不適切ケア研修強化 ②接遇・コミュニケーション技術研修強化 ③ユニット会議の充実を図り、お互いにスタッフが注意し合える環境を作る	12ヶ月
2	49	コロナ禍において、外出の機会がホーム周辺の散歩など、限定的になっており、利用者様の希望が叶えられていない。	利用者様の希望に添った外出支援を行う。	①利用者一人一人の希望を聴取する ②総ての利用者様の希望に添った外出支援を行う	12ヶ月
3	11・12	日々の業務に追われ目標を持てなかったり、新しいことに挑戦出来ない傾向がある。	スタッフが実現したいことがあると思える職場にする。	①面談において職員の夢や希望、目標を聞く ②日々、自信が持てるような声掛けをする ③面談において抽出した、実現可能なことから実践できるよう支援する	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。